

仙台六大学野球春季リーグ（仙台六大学野球連盟、東北放送、河北新報社主催）は13日、仙台市青葉区の東北福祉大球場で開幕する。5月26日までの7節にわたり、2回

戦総当たりの勝ち点制で争う。優勝校は全日本大学野球選手権（6月11～16日・神宮球場ほか）の出場権を得る。今季の各チームの戦力を紹介する。

仙台六大学野球 13日開幕

栄光つかめ春

上

（注）メンバー表の部長、監督の後は最終学歴。選手の後は学年、身長、体重、投打の右左の順。かっこ内は出身高。◎は主将

秋の覇者 今季も充実

昨秋の覇者。主力メンバーが8人残り、今季も戦力は充実している。

昨秋に防御率0・43とリーグトップだった左上手の塚本はコーナーを突く丁寧な投球が持ち味。ピンチにも動じないマウンドさばきが身上の左上手加藤潤や、右スリークォーターで技巧派の大山、速球に威力がある右上手本田が先発候補だ。

昨秋、ベストナインに選ばれた捕手の嵯峨は、相手打者の裏をかく配球が特長。女房役の巧みなリードも見どころだ。

東北学院大

打線は、上位打線の集中打で得点するのがパターン。2番遠藤が好機を演出し、三瓶井上、小山の中軸で得点を奪いたい。中でも4番井上はこそぞという場面での勝負強さに定評があり、チームの信頼が厚い。連覇が期待できる布陣は整った。遠藤主将は「挑戦者の気持ちで臨み、今季も優勝を狙う」と闘志満々に話す。菅井監督は「昨秋の優勝に慢心してはいけない。一戦一戦を全力で戦うだけ」と気持ちを引き締めている。

部長	高木龍一郎	（東北学院大大学院）			
監督	徳雄	（東北学院大）			
投手	塚本峻大	④	177	72	左左（宮城・利府）
	小形慶貴	④	173	65	左左（宮城・白石）
	加藤潤平	④	176	75	左左（宮城・角田）
	豊島和輝	④	173	65	右右（福島・聖光学院）
捕手	伊藤直道	③	177	71	右左（岩手・水沢）
	大山将	③	180	69	右右（秋田・能代）
	加藤裕樹	③	170	83	右左（宮城・角田）
	本田圭佑	②	178	73	右右（宮城・東北学院）
内野	嵯峨日明	③	180	73	右右（宮城・仙台育英）
	菅井航太	③	172	69	右右（宮城・東北）
	作間圭佑	②	175	74	右左（宮城・東北学院）
	芳賀智	④	181	78	右右（福島・湯本）
外野	佐藤友裕	④	179	75	右右（宮城・仙台商）
	日野聡明	③	170	60	右右（宮城・仙台育英）
	井上信志	③	173	71	右右（宮城・仙台育英）
	桃井祐輔	③	177	70	右右（宮城・名取北）
	奥山優士	②	173	73	右右（山形・日大山形）
	佐藤翔太	②	176	74	右左（岩手・盛岡大付）
	高橋勇樹	②	175	70	右左（宮城・仙台育英）
	小山尚哉	②	178	86	右右（山形・山形中央）
	◎遠藤聖拓	④	175	74	右右（宮城・利府）
	鈴木孝典	④	167	67	右左（宮城・小牛田農林）
	三瓶将大	③	180	80	右左（宮城・仙台育英）
	高田涼平	②	180	70	右左（宮城・仙台育英）
山本	祐右	②	175	75	右左（宮城・仙台育英）

堅い守備からリズム

昨秋まで7季連続の3位。部員140人の大所帯で指揮を執る森本監督は「優勝に不可欠な『勝負力』を追求し、精神的にもたくましさが増した」とチームの成長ぶりを評価。堅い守備からリズムをつくり、頂点を狙う。

投手陣は層が厚い。柱となる右上手の立花はスライダー中心の組み立て、左上手の野口は多彩な球種が武器。ともに制球力があり、大崩れしない。左上手の金沢は140ギットの速球が武器。右上手の根本も球威十分

仙台大

打線は、3割9分5厘で昨秋首位打者の我妻がキーマンとなる。高い打撃センスと俊足で引っ張る。馬場は長打力がある。守りは青木、我妻の二遊間は鉄壁だ。外野手には強肩がそろい、安定している。

開幕に照準を合わせて2月に広島県でキャンプ、3月には関東遠征を行い、大学、社会人の強豪との練習試合を重ねた。青木主将は「僅差のゲームにも競り勝ち粘り強さが生まれた」と手応えを話す。

部長	渡辺宣隆	（東北大）			
監督	吉謙	（筑波大）			
投手	森本光基	④	179	77	左左（北海道・札幌創成）
	金沢完	④	186	80	右右（茨城・土浦日大）
	立花貴志	③	175	70	右右（福島・双葉翔陽）
	根本亮太	③	163	60	左左（群馬・前橋商）
捕手	野口雅人	②	178	80	左左（北海道・旭川実）
	影浦健人	②	175	70	右右（宮城・柴田）
	熊原情志	④	165	65	右左（栃木・国学院栃木）
	吉田太陸	③	183	75	右右（北海道・恵庭南）
内野	坂東航平	④	171	71	右左（栃木・宇都宮工）
	田中一将	④	182	69	右左（群馬・東農大二）
	◎青木馬場康治郎	④	170	85	右右（宮城・利府）
	我妻真太郎	④	180	75	右右（山形・山形中央）
外野	庄司祐樹	③	168	65	右左（宮城・東陵）
	樋口隼平	③	173	70	右右（宮城・宮城農）
	薄井新	②	180	75	右右（栃木・矢板中央）
	浅野壮也	①	170	64	右右（栃木・作新学院）
	松本桃太郎	①	175	67	右右（北海道・北海）
	伊東慎也	④	178	75	右右（宮城・仙台育英）
	斉藤寛生	④	182	78	右左（福島・聖光学院）
	柳田恭平	④	184	83	右右（北海道・鶴川）
	五十嵐歩	③	171	74	右左（福島・帝京安積）
	上山賢	③	169	67	右右（鳥取・倉吉東）
	加藤大地	③	171	68	左左（千葉・東海大望洋）
	大坂智哉	①	175	73	左左（青森・青森山田）
郷古	裕樹	①	184	77	右右（宮城・仙台育英）

実戦重ねチーム成長

昨年は春、秋とも宮教大以外から勝ち点を挙げられず5位。奥村監督は「大量点を狙えるチームではないので、上位校との対戦では少ない好機を着実に得点に結び付け、継投で逃げ切りたい」と今季の戦い方を示す。

投手陣の柱は、右上手の稲井と塚本、右下手の時光の3人。稲井はスライダーの切れ、塚本はテンポの良さ、時光は低めへの制球力をそれぞれ持ち味とする。いずれも打たせて取るタイプだ。

東北大

守備での注目目は外野。大山を筆頭に俊足の選手がそろった。間を抜けた当たりでも長打にするのを食い止めたい。「例年以上に練習試合を重ねた。チームもまとまっている。Aクラス入りが目標」と笹川主将は自信をのぞかせる。

部長	長谷川史彦	（東北大大学院）			
監督	奥村修	（東北大）			
投手	稲井真	④	177	72	右右（埼玉・川越）
	久門大輝	④	176	64	右右（宮城・泉館山）
	杉山伸孝	④	182	80	右右（大阪・金蘭千里）
	高橋直人	④	178	68	右右（新潟・新潟）
捕手	高橋直也	③	172	72	右右（岩手・盛岡一）
	時光晋平	③	170	62	右右（北海道・帯広柏葉）
	塚本匡顕	③	179	71	右右（鹿児島・鶴丸）
	◎笹川健太	④	173	70	右右（新潟・新潟）
内野	宮沢拳	③	165	67	右左（宮城・仙台一）
	三富崇永	③	170	70	右左（新潟・新潟南）
	斎藤一樹	③	171	95	右右（岩手・盛岡一）
	奥山賢人	④	174	76	右右（秋田・秋田中央）
	西村壮央	④	177	78	右両（秋田・秋田）
	川内龍	④	173	63	右右（大阪・高槻）
	丹野勝之	④	170	70	右左（宮城・仙台二）
	石塚和	④	186	73	右左（山形・酒田東）
	畠山泰輔	③	176	70	右右（宮城・仙台三）
	鈴木元	③	165	59	右右（山形・長井）
	柳沢尚平	②	176	69	右左（埼玉・栄東）
	石森亮輔	④	170	70	右右（宮城・石巻）
外野	小林勝男	④	168	60	右右（長野・野沢北）
	大山誠司	④	167	60	右両（宮城・泉館山）
	後藤凌	④	177	67	右右（秋田・秋田）
	渡辺崇健	③	178	73	右右（新潟・新潟）
小寺	輝	③	180	79	右左（茨城・下妻一）